

「令和5年度伊達市経営に関する説明会（伊達地域）」発言録

日 時：令和5年4月24日（月）

13時40分～14時25分

場 所：伊達福祉センター 大会議室

参加者：35/38人（1人代理出席）

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

復旧・防災・減災関連

■伊達橋の復旧・仮橋について

行政推進員：伊達橋の仮橋を請け負っている企業の社長から聞いた話ですが、仮橋は本橋ができるまでの期間もてばいいので設計の時点から耐用年数は3年から4年程度であり、全国から集めた鉄骨材を使用していると伺った。確かに持ち寄られた鉄骨材を見ると錆びたような鉄骨材が保管されている。また、伊達橋の南側に歩道橋がありますが、昭和初期にかけられた橋のため、既に100年近く経過している。一般の利用者のほか伊達中学校の通学にもなっているので、伊達橋の架け替えに合わせて、側面に歩道橋を設置していただきたい。現場事務所の社長も今だったら間に合うという話なので、国、県へ要望していただきたい。

建設部長：歩道橋はお話のとおり、100年と非常に長い期間を経過していますが、幾度か補修を行っており、国県が実施している耐震診断では基準を満たしています。そのためすぐに壊れるという心配はありません。

仮橋で使用する鉄骨材が錆びているとのことですが、何ら強度的には問題ありません。現場担当者がどのような説明をしたかわかりませんが、国では安全基準に基づき設計していますので3年で壊れるような橋ではないと認識しています。伊達橋は国の災害復旧事業で現状復旧となります。車道二車線で歩道はつかないと聞いておりますが、歩道の設置は国県に要望してまいりたいと考えております。

行政推進員：交通量が多い伊達橋に歩道がつかないのは国、県に対して市の要望が足りないのではないかと。

建設部長：災害が起きた時点から国に対し緊急要望を行っております。伊達橋の要望は市長が直接、福島県、国へ出向き要望を行っております。今後も伊達橋の復旧を進めていく中でしっかり要望していきたいと考えております。

農林業・商工・観光

■農作物のイノシシ被害、ミツバチ補助、防霜補助、太陽光発電について

行政推進員：原町の山にイノシシが出没し農作物の被害がでました。猟友会に罠を設置してもらったが捕獲には至っておりません。以前ミツバチの補助が伊達市から出ていたが今は補助がないようです。また、燃料高騰等の理由等で防霜対策を行う農家が少なくなっている。そのため、防霜対策の支援を行っていただきたい。地区内で営農型太陽光発電事業の計画があります。大雨が降ると間違いなく水没してしまうエリアであります。町内会として同意はしましたが、市で申請内容をきちんと確認していただきたい。

産業部長：イノシシの被害は、豚コレラ（豚熱）が一時期流行したことにより、被害及び捕獲数は減ってきています。対策としては罠やフェンスの設置になりますので相談をいただき対応していきたいと考えております。ミツバチ補助は確認したいと思います。防霜対策については、防災無線などで周知をしているところではありますが、被害を最小に抑えるということから実施していただくために支援も考えてまいりたいと思います。太陽光発電につきましては、私も現地を確認しています。事業者から事業計画が提出されますので、排水部分も含め適正であるか確認してまいりたいと思います。

まちづくり・地域振興

■伊達ケーブルテレビについて

行政推進員：伊達ケーブルテレビの住民説明会があったが、平成31年2月19日の答申と令和4年12月12日の答申の間、経過説明がないまま新しい答申について説明があった。なぜ同じテーマで新たな審議会が立ち上がるのか、前の答申は反故されたのではと疑いたくなる。どのような経過があったのか不明なため改めて住民説明会を開催してほしい。

総務部長：お話のとおり当時の答申から今回の答申で、どういった経過で変わったのか説明会において不十分だったと反省しています。伊達地域にとって大変重要な課題、問題でありますので、今後も説明会を開催して、ご意見を賜りたいと考えております。

建設・土木

■道路の白線について

行政推進員：郡山市で親子4人が死亡した悲惨な事故があり、事故後、白線の引き直しが行われたようです。私の町内にも止まれの白線がほとんど消えている小さい交差点があり、先日事故が発生しました。他にも横断歩道のダイヤモンドマークが消えかかっている箇所があるので対応してください。

市民生活部長：一時停止の白線、横断歩道のダイヤモンドが消えかかっているなど、道路標示の不備がたくさんあると思います。市でも点検していますが、皆さまからご連絡いただいた場所を伊達警察署に要望してまいります。

建設部長：市道は、区画線のラインを引くことで対応を進めてまいります。消えかかっている箇所を調査し、線を引けるところは引きながら、安全対策を進めてまいります。